

政策シート (政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
 (予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
 この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	26,593,035	33,469,260
決算	26,317,650	
人件費(A)	82,400	82,400
報酬(B)	255	141
年間経費(予算又は決算+A+B)	26,400,305	33,551,801

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
企業債残高(億円)	億円	1,277	目標	1,646	1,719
			実績	1,626	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
 この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

- ・ 企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標に対し20億円減の1,626億円となり、企業債残高の削減が図られた。
- ・ 西遠コンセッションについては、当該方式での運営による財政効果が期待できるとの結果を得たことにより、2月29日に「特定事業の選定」を公表し、同日、「実施方針」の公表を行った。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)		○	○		21,410,523	21,335,123	10.0		1.0	1.0	
2	浜松市下水道事業(資本的支出)			○		12,141,278	12,134,137	1.0				141
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						33,551,801	33,469,260	11.0		1.0	1.0	141

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

平成28年度

(管理番号)

03 06 02 01 00770100 01

(担当課)

上下水道総務課

(責任者)

上久保 明治

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

事業シート

(事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。また、平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、民間活力を最大限に活用した効率的な管理・運営を実現する。

◇事業の概要

○下水道事業に係る経営管理

・持続可能かつ健全な経営の推進

○下水道事業に係る組織・人事管理

・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化

○災害対策事業

・部内及び他都市連携による防災訓練の実施

○下水道の普及啓発事業

・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての下水道に対する理解及び安全・安心の啓発

【重点戦略項目No.100、133】

平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりコンセッション方式を導入し、民間事業者に運営を委ねる。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	15,455,328	21,335,123
	決算	15,180,467	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	9,905,951	15,561,453
	一般会計繰入金	5,274,516	5,773,670
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		75,400	75,400
人工	正規	10.0	10.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	1.0	1.0
	非常勤	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
企業債残高(億円)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1,646	1,719	1,615		1,277
実績値	1,626				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
職員定数(人)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	111	113	106		105
実績値	110				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
防災訓練(研修)の実施回数(回)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	15	15	15		15
実績値	15				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
西遠コンセッション事業の導入					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	事業者公募開始	優先交渉権者設定	コンセッション開始		
実績値	事業者公募開始				

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○下水道事業に係る経営管理
 ・持続可能かつ健全な経営の推進
 ○下水道事業に係る組織・人事管理
 ・経営の効率化を図るため人員適正化、少数精鋭化
 ○災害対策事業
 ・部内及び他都市連携による防災訓練の実施
 ○下水道の普及啓発事業
 ・通常では、目に触れる機会が稀な、インフラとしての下水道に対する理解及び安全・安心の啓発

【重点戦略項目No.100、133】
 平成27年度末に静岡県から移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりコンセッション方式を導入し、民間事業者運営に委ねる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標に対し20億円減の1,626億円となり、企業債残高の削減が図られた。
 ・正規職員数については、事務事業の見直しなどにより、目標に比べ1人削減の110人となり、人件費の削減が図られた。
 ・災害や事故など不測の事態を想定した業務継続計画(BCP)を策定した。また、部内の防災訓練や他都市との連携による防災訓練などを15回の目標に対し計画通り実施した。
 ・西遠コンセッションについては、当該方式での運営による財政効果が期待できるとの結果を得たことにより、2月29日に「特定事業の選定」を公表し、同日、「実施方針」の公表を行った。

・事業の改善と見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類 細分類

平成28年度

(管理番号)

03 06 02 01 00770100 01

(担当課)

上下水道総務課

(責任者)

上久保 明治

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

補助シート

(事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
100 133	実施方針(案)公表 実施方針公表 募集要項公表	第一次審査 第二次審査 優先交渉権者決定	契約締結 事業引継	コンセッション開始

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇取組概要

下水道事業における企業債残高の計画的な削減に取り組み、経営健全化を推進する(市の財政負担を軽減)。平成28年4月1日に静岡県から浜松市へ移管される西遠流域下水道について、平成30年度よりPFI法に基づくコンセッション方式を導入し、民間活力を最大限活用した効率的な事業運営を行う。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

- 行政経営計画 取組番号・取組事項名 2006 下水道事業における企業債残高の削減
 取組番号・取組事項名 5004 西遠流域下水道へのコンセッション方式の導入
- 個別計画等 計画名等 下水道事業中期財政計画(企業債残高の削減)

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	建設事業費(億円)	計画値	55.0	72.0	72.0	72.0
		実績値	51.0			
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額(千円)						

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》
 ・建設事業費を計画値55.0億円から51.0億円に削減し、その結果、企業債借入が抑制され残高の削減が図られた。

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

下水道は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。この施設を適正に管理運営し、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇事業の概要

○企業債償還金

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	11,137,707	12,134,137
	決算	11,137,183	
	国・県支出		
	市債	2,882,900	3,144,700
	その他		
	一般財源	7,426,039	7,933,857
	一般会計繰入金	828,244	1,055,580
	人件費(報酬等)(千円)	255	141
	人件費(千円)	7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
企業債残高(億円)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	1,646	1,719	1,615		1,277
実績値	1,626				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 02 01 00770100

(担当課)
上下水道総務課

(責任者)
上久保 明治

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○企業債償還金

・事業の成果と課題

指標の達成度

・企業債残高については、建設改良費の削減などにより目標に対し20億円減の1,626億円となり、企業債残高の削減が図られた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 下水道会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	6,102,760	6,829,250
決算	6,102,760	
人件費(A)		
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	6,102,760	6,829,250

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

下水道事業は、生活環境の改善や公共用水域の水質保全、浸水の防除などの役割を果たす都市に欠くことのできない施設である。
この施設の適正な維持管理及び建設・改良工事を推進するとともに、公営企業の使命である公共の福祉の増進と経済性を発揮することを目的とする。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	下水道会計事業出資金					1,055,580	1,055,580					
2	下水道会計事業負担金					5,773,670	5,773,670					
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						6,829,250	6,829,250					

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 下水道会計事業出資金

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	828,244	1,055,580
	決算	828,244	
	国・県支出		
	市債		
	その他	800,000	1,000,000
	一般財源	28,244	55,580
	一般会計繰入金		
	人件費(報酬等) (千円)		
	人件費 (千円)		
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
	H27	H28	H30	H31	H36
年度					
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
	H27	H28	H30	H31	H36
年度					
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
	H27	H28	H30	H31	H36
年度					
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
	H27	H28	H30	H31	H36
年度					
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 02 02 00770100

(担当課)
上下水道総務課

(責任者)
上久保 明治

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 下水道会計事業負担金

◇事業目的・事業対象

--

◇事業の概要

--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
					-		

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	5,274,516	5,773,670
	決算	5,274,516	
	国・県支出		
	市債		
	その他	3,011,000	3,211,000
	一般財源	2,263,516	2,562,670
	一般会計繰入金		
	人件費(報酬等) (千円)		
	人件費 (千円)		
人工	正規		
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30: 重点戦略最終年度、H31: 総合戦略最終年度、H36: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 02 02 00770100

(担当課)
上下水道総務課

(責任者)
上久保 明治

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・事業の成果と課題

指標の達成度

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事前の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行なう。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	21,167	20,853
決算	16,777	
人件費(A)	88,520	87,120
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	105,297	107,973

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
汚水衛生処理率	%	94.0	目標	85.4	86.8
			実績	84.3	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、下水道への接続促進及び宅内排水設備工事前の事前相談に対する技術的指導や下水道使用に関する監督・指導を行なう。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

政策の指標である汚水衛生処理率は目標に届かなかったが、下水道水洗化(接続)率は、職員及び業務委託による訪問勧奨等の取り組みにより目標を達成した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	107,973	20,853	10.0	2.2	3.0	0.5	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						107,973	20,853	10.0	2.2	3.0	0.5	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道事業効果を高めるため水洗化率(接続率)の向上を図るとともに、適正な宅内排水設備施工のため指定工事人に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導を行う。

◇事業の概要

○水洗化促進事業

・職員及び業務委託による訪問勧奨の実施

○宅内排水設備指定工事人に対する指導・監督事業

・指定工事人を対象とした技術講習会の実施

○宅内排水設備工事の相談・受付・検査業務

・宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導の実施

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	21,167	20,853
	決算	16,777	
	国・県支出		
	市債		
	その他	16,777	20,853
一般財源			
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		88,520	87,120
人工	正規	10.2	10.0
	再任用(h31)	2.2	2.2
	再任用(h26)	3.0	3.0
	非常勤	0.5	0.5

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
下水道水洗化(接続)率 (%)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	94.8	95.2			97.0
実績値	94.8				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- 水洗化促進事業
 - ・職員及び業務委託による訪問勧奨の実施
- 宅内排水設備指定工事人に対する指導・監督事業
 - ・指定工事人を対象とした技術講習会の実施
- 宅内排水設備工事の相談・受付・検査業務
 - ・宅内排水設備工事の事前相談に対する技術的指導及び下水道使用に関する監督・指導の実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

訪問勧奨は職員等7,165戸、業務委託2,577戸、合計9,742戸を実施した。また、排水設備指定工事人を対象とした技術講習会を2回開催する等、適正な宅内排水設備の施工及び下水道使用に関する技術的指導を行なった。これらの取り組みにより、水洗化率は対前年比で0.3ポイント向上し目標とした94.8%を達成。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 - / - 事業費 現状 人工 現状

・戸別訪問の一部を業務委託することにより、未接続者と面談し下水道事業の重要性、必要性を説明する機会が増加した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 一部委託 / - 事業費 縮小 人工 縮小

・平成29年度より、宅内排水設備工事の受付、検査業務の一部を業務委託することにより事業費及び人工の縮小が見込まれる。

・事業の分類

大分類 管理・監視

細分類 検査・監視指導

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇取組概要

下水道使用料の増収を目的に、下水道未接続者への接続勧奨強化に取り組み、下水道事業の財政基盤強化を図る。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 5001

取組事項名 下水道水洗化率(接続率)の向上

個別計画等 計画名等

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値	
1	戸別訪問(戸数) ※H27、H28は	計画値	9,500	9,500	7,000	7,000	3,000(H40)
	業務委託による訪問戸数含む	実績値	9,742				
2		計画値					
		実績値					
3		計画値					
		実績値					
効果額(千円)		累積	6,169	9,169	24,769	40,369	80,476

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 計画通り ▶

訪問勧奨は職員等7,165戸、業務委託2,577戸、合計9,742戸を実施した。
 これらの取り組みにより水洗化率は対前年比で0.3ポイント向上し目標とした94.8%を達成。

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

(予算費目名) 浄化槽普及費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や、既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及を促進するための事業を展開する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	467,142	489,446
決算	427,243	
人件費(A)	27,000	17,100
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	454,243	506,546

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
汚水衛生処理率	%	94.0	目標	85.4	86.8
			実績	84.3	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とし、下水道や浄化槽等それぞれの汚水処理施設の有する特性、経済性等を総合的に勘案したうえで、地域の実情に応じた効率的かつ適正な整備を行い、汚水処理システムの早期概成を目指す。
また、適正な運営管理を行うなかで、汚水処理施設の未整備区域における施設整備や、既整備区域における施設の改築・更新や耐震化を推進し、持続的な汚水処理システムを構築する。
本政策では、浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及を促進するための事業を展開する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 遅れている

政策の指標である汚水衛生処理率は84.3%と目標に届かなかったが、前年度対比で0.7ポイント(見込)上昇しており、汚水処理システムの概成に向けて着実に進捗している。目標達成のためには市民に費用負担を求めることになるため、各事業を継続展開して、市民の理解・協力を得ることが不可欠である。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浄化槽維持管理事業					10,869	2,669	0.8		1.0		
2	合併処理浄化槽普及啓発事業					3,958	658	0.1		1.0		
3	浄化槽助成事業		〇〇			491,719	486,119	0.8				
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						506,546	489,446	1.7		2.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浄化槽維持管理事業

◇事業目的・事業対象

浄化槽が本来の機能を発揮し、汚水処理システムの役割を果たすためには、浄化槽法に基づいた適正な維持管理が不可欠であるため、浄化槽関連業に関する事務を適正に執行するとともに、維持管理状況等を把握するための管理台帳を整備する。

◇事業の概要

- 浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務の実施
 浄化槽関係業者に対して、浄化槽法に基づく維持管理の徹底についての指導を実施する。
 浄化槽保守点検登録業者講習会を開催し、事業者の知識向上を図る。
- 浄化槽管理台帳システム整備業務の実施
 平成24年度までに整備した浄化槽管理台帳システムの保守業務を実施する。
 届出等の浄化槽情報を更新入力し、市内にある浄化槽の設置状況や維持管理状況の把握に努める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S60	-	一般会計	法定受託事務 自治事務(その他)	浄化槽法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	2,777	2,669
	決算	2,509	
	国・県支出		
	市債		
	その他	1,508	370
	一般財源	1,001	2,299
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		11,400	8,200
人工	正規	1.0	0.8
	再任用(h31)	0.5	
	再任用(h26)	1.0	1.0
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
保守点検契約率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値	94.5				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- 浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務の実施
浄化槽関係業者に対して、浄化槽法に基づく維持管理の徹底についての指導を実施した。
浄化槽保守点検登録業者講習会を静岡県と共催し、事業者の知識向上を図った。
- 浄化槽管理台帳システム整備業務の実施
平成24年度までに整備した浄化槽管理台帳システムの保守業務を実施した。
届出等の浄化槽情報を更新入力し、市内にある浄化槽の設置状況や維持管理状況の把握に努めた。

・事業の成果と課題

指標の達成度

保守点検契約率は94.5%と目標の水準を維持しており、浄化槽が所期の性能を発揮していると考えられる。
今後も、未契約の浄化槽が判明した場合には、浄化槽管理者(市民)のほか、委託業者への指導も行っており、適正な維持管理につながっている。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

浄化槽清掃許可業者及び保守点検登録業者に対する指導業務は、適正な維持管理を担保するうえで不可欠であるため、保守点検業者講習会の内容を一部見直し、事業者の知識・技術の向上を図った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

保守点検業者講習会の内容を適宜見直すことで、事業者の知識・技術の積み上げを図っていく。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 合併処理浄化槽普及啓発事業

◇事業目的・事業対象

浄化槽の適正な維持管理の確保や合併処理浄化槽の普及には市民の理解、協力が不可欠であることから、市民の汚水処理に対する関心を高めるため、戸別訪問などの普及啓発事業を展開する。

◇事業の概要

○戸別訪問による合併処理浄化槽への設置替えについての啓発及び維持管理指導

下水道事業計画区域外の地域における単独処理浄化槽世帯やくみ取便槽世帯に対して、合併処理浄化槽への設置替えを啓発する。

浄化槽法で定められている保守点検、清掃、水質検査の周知並びに実施率の向上を図るため、浄化槽管理者宅への戸別訪問等を実施する。

○普及啓発事業の開催

生活排水が水環境に与える影響を周知し、合併処理浄化槽の設置及び維持管理の必要性について啓発するため、市民を対象とした啓発事業を開催する。

○保守点検登録業者、清掃許可業者、指定検査機関と連携した維持管理啓発

浄化槽パトロールなどを関連業者と連携して実施することで効果的な維持管理の啓発を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H25	-	一般会計	自治事務(その他)	浄化槽法	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	811	658
	決算	462	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	462	658
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		4,400	3,300
人工	正規		0.1
	再任用(h31)	0.5	
	再任用(h26)	1.0	1.0
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
戸別訪問件数(件)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
実績値	3,710				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

○戸別訪問による合併処理浄化槽への設置替えについての啓発及び維持管理指導
 下水道事業計画区域外の地域における単独処理浄化槽世帯やくみ取便槽世帯に対して、合併処理浄化槽への設置替えを啓発した。
 浄化槽法で定められている保守点検、清掃、水質検査の周知並びに実施率の向上を図るため、浄化槽管理者宅への戸別訪問等を実施した。
 ※平成27年度戸別訪問件数 3,710件

○普及啓発事業の開催
 生活排水が水環境に与える影響を周知し、合併処理浄化槽の設置及び維持管理の必要性について啓発するため、市民を対象とした啓発事業を開催した。

○保守点検登録業者、清掃許可業者、指定検査機関と連携した維持管理啓発
 浄化槽パトロール、浄化槽教室を関連業者と連携して実施した。
 ※平成27年度浄化槽パトロール実施件数 167件 ※浄化槽教室 2校で実施

・事業の成果と課題

指標の達成度

戸別訪問件数は目標を上回る3,710件となった。また、対象地区の選定にあたっては、浄化槽設置費補助金の増額幅が大きい地域を選定することで、効果的に合併処理浄化槽の設置促進を図った。
 しかしながら、対象となる浄化槽は約35,000基あり、全浄化槽管理者を訪問するには相当の期間が必要となるため、戸別訪問と並行して、郵送や地域のイベントなどを活用して広く周知啓発をしていく必要がある。

・事業の改善と見直し

実施結果
 大項目 小項目 / 事業費 人工

単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への設置替えには法的義務がないことから(努力義務)、合併処理浄化槽の普及を促進するには、市民の主体的な行動を促す必要があるため、市民への周知・啓発を強化した。
 ・再任用職員を増員し、戸別訪問件数を増加させた(前年度対比約1,000件増)。

今後の方向性
 大項目 小項目 / 事業費 人工

これまでの取り組みを継続的に実施するとともに、浄化槽管理台帳の情報を活用して啓発の対象を選定するなど、効果的かつ効果的な啓発の手法を検討していく。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 浄化槽助成事業

◇事業目的・事業対象

汚水処理の早期概成のためには、下水道事業計画区域外の合併処理浄化槽の普及促進が不可欠である。しかしながら、浄化槽設置費用の負担が合併処理浄化槽の普及が進まない主な要因となっている。このため、浄化槽設置者に対して補助金を交付することによって、市民の負担を軽減し、合併処理浄化槽の普及を促進させる。

◇事業の概要

【重点戦略項目No.72】

○浄化槽設置整備事業

下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理区域外で、10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する市民に対し、槽の大きさごとに定められた補助金を交付する。
 水質汚濁量の多い単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えする市民には、新設時の補助額に一定額を上乗せした補助金を交付する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S63	-	一般会計	自治事務(その他)	浄化槽法	-	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	463,554	486,119
	決算	424,272	
	国・県支出	129,771	98,804
	市債	280,300	368,900
	その他		
	一般財源 一般会計繰入金	14,201	18,415
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		11,200	5,600
人工	正規	1.6	0.8
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
合併処理浄化槽設置基数				-	72
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	21,100	22,400	25,000	26,300	32,800
実績値	20,245				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

【重点戦略項目No.72】

○浄化槽設置整備事業

下水道事業計画区域外及び農業集落排水処理区域外で、10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する市民に対し、槽の大きさ、処理方式並びに水域ごとに定められた補助金を交付した。

水質汚濁量の多い単独処理浄化槽やくみ取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えする市民には、新設時の補助額に一定額を上乗せした補助金を交付した。

※平成27年度補助基数794基（新設509基、設置替285基）

・事業の成果と課題

指標の達成度

合併処理浄化槽設置基数は目標値の21,100基に届かなかったが、設置基数は20,245基（前年度対比891基増）となり、確実に合併処理浄化槽の普及が進んでいる。

また、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽へ設置替えする市民に対する補助限度額を増額したことから、設置替えに対する補助基数が285基（前年度対比68基増）となり一定の効果が見られた。

しかし、補助限度額を増額しても、市民には費用負担が生じるため、設置基数を増加させるためには、助成制度を維持するとともに、設置者の理解を高める必要がある。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・交付要綱を改正し、設置替えに対する取り組みの重点化を図るとともに、適正な補助金執行に努めた。

・平成27年10月1日交付決定分より補助限度額を変更した。

- (1) 設置替えに対する補助限度額を増額した。
- (2) 新設（建築確認申請を伴うにも）に対する補助限度額を減額した。
- (3) 水域区分を廃止し、全ての地域で補助限度額を統一した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・現行の浜松市浄化槽設置補助金交付要綱は平成29年度までの補助金に適用する。平成30年度以降については、補助限度額の見直しの効果を検証し、今後の助成制度の在り方を検討していく。

・事業の分類

大分類

細分類

補助シート (事業名) 浄化槽助成事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
72	合併処理浄化槽設置基 数 21,100基	合併処理浄化槽設置基 数 22,400基	合併処理浄化槽設置基 数 23,700基	合併処理浄化槽設置基 数 25,000基

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・ 快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・ 現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化
- ・ 下水道管きよの適正な維持管理

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	5,883,972	6,686,725
決算	5,506,826	
人件費(A)	324,000	324,000
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	5,830,826	7,010,725

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
基幹管路の耐震化適合率	%	90	目標	80.6	84.1
			実績	83.4	
下水道人口普及率	%	82	目標	79.9	80.1
			実績	80	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・ 快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・ 現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化
- ・ 下水道管きよの適正な維持管理

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

＜進捗＞ 計画通り

計画通りに進捗している。

今後については、維持管理分野では事業費、人工の縮小に繋げるための情報収集と分析、資本的支出に関する事業では交付金制度の積極的な活用を進めていきたい。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	459,269	417,269	6.0				
2	浜松市下水道事業(資本的支出)				○	6,551,456	6,269,456	39.0	1.0	1.0	1.0	
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						7,010,725	6,686,725	45.0	1.0	1.0	1.0	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

・下水道管きよの適正な維持管理

◇事業の概要

・下水道管きよの適正な維持管理

【やります!リスト 記載なし】

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法 等	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	343,718	417,269
	決算	337,781	
	国・県支出		
	市債		
	その他	105	1
	一般財源	337,676	417,268
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		42,000	42,000
人工	正規	6.0	6.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 02 06 07720000

(担当課)
下水道工事課

(責任者)
鈴木 秀俊

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

・下水道事業費(下水道管きよの適正な維持管理) [決算337,781千円]

【やります!リスト 記載なし】

・事業の成果と課題

指標の達成度

不明

指標が設定されていないため、入力に適さない。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

予防保全型の維持管理実現のため、浜松市下水道事業管路維持管理計画を策定した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後については、維持管理する施設数は増大する一方であるため、全国の各政令市の状況等の先進事例等を確認しながら、事業費、人工の縮小に繋げるための情報収集と分析に努めていきたい。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

- ・快適な生活環境を保つための下水道の整備
- ・現状施設の機能を適切に保持していくための改築更新・耐震化

◇事業の概要

- ・基幹管きよ、処理場・ポンプ場等の下水道施設の耐震化及びマンホールの浮上防止対策の実施
 - ・管きよ、マンホールポンプ、処理場・ポンプ場の長寿命化計画に基づく改築更新の実施
 - ・市街化区域及び整備効率の高い下水道未普及地区への下水道管きよの整備
 - ・館山寺浄化センターの施設増設
 - ・供用開始区域の公共下水道への取付管設置の推進
 - ・市街地の浸水対策のための雨水きよ及び排水ポンプの整備の実施
 - ・合流区域における放流水質を改善するためのバイパス管整備等の実施
 - ・下水道が整備され供用開始となった区域における受益者負担金の徴収
 - ・既設管きよ等の施設について、他事業との調整等に伴う改良事業の実施
 - ・H27末に移管された西遠流域下水道の幹線管きよ設置と浄化センターの改築更新事業の実施
 - ・汚泥の有効利用を図るために新技術の導入を図る。
- 【やります!リスト 記載なし】

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法等	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	5,540,254	6,269,456
	決算	5,169,045	
	国・県支出	2,095,434	2,935,695
	市債		
	その他	301,461	1,066,679
	一般財源	2,772,150	2,267,082
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		282,000	282,000
人工	正規	39.0	39.0
	再任用(h31)	1.0	1.0
	再任用(h26)	1.0	1.0
	非常勤	1.0	1.0

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
基幹管渠の耐震化率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	80.6	84.1			
実績値	83.4				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
下水道人口普及率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	79.9	80.1			
実績値	80				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
下水道人口普及率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					
下水道人口普及率(%)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 02 06 07720000

(担当課)
下水道工事課

(責任者)
鈴木 秀俊

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・公共整備事業 [決算3,379,583千円(うち前年度繰越1,470,237千円)]
- ・単独整備事業 [決算781,895千円]
- ・特定環境保全公共整備事業 [決算297,297千円(うち前年度繰越197,405千円)]
- ・特定環境保全単独整備事業 [決算167,015千円]
- ・受益者負担金徴収業務 [決算29,242千円]
- ・改良事業 [決算375,113千円(うち前年度繰越24,624千円)]
- ・西遠流域事業 [決算138,900千円]

【やりませりリスト 記載なし】

・事業の成果と課題

指標の達成度

下水道基幹管路の耐震化適合率については、下水道整備済区域内の防災拠点と下水処理場・ポンプ場とを結ぶ管きよの総延長175.5kmに対する、耐震化・減災対策が行われた管きよの延長142.05kmの割合であり80.9%、また、下水道人口普及率については、行政人口807,898人に対する下水道が利用できる人口646,342人の割合であり、80.0%となり、いずれも計画通り進捗している。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

下水道ビジョンを改訂し、引き続き地震対策の推進に取り組むとともに、浜松市汚水処理10年プランを策定し、効率的な汚水処理の整備方針を示した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

来年度以降、西遠処理区の移管に伴うコンセッション(官民連携)事業、普及促進事業のアクションプランに伴う実施、ストックマネジメント対策、地震対策に関する計画策定等が予定されている。社会資本整備総合交付金制度の重点配分等の制度確認と中部地方整備局との調整を進め、交付金の拡充に努めていきたい。

・事業の分類

大分類

細分類

平成28年度

(管理番号)

03 06 02 06 07720000 02

(担当課)

下水道工事課

(責任者)

鈴木 秀俊

(作成日)

平成 28 年 7 月 1 日

行財政改革の取り組み (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇取組概要

行財政基盤の強化に向けて、下水道受益者負担金の収納向上、管路更生工法の採用・小口径マンホールの積極的採用による改築・建設経費の見直し等により、下水道事業全般におけるコストの縮減を進める。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 _____

取組事項名 _____

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート(以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標(単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	下水道受益者負担金収納率	計画値	99	99	99	99
	(%)	実績値	99			(H30) 99
2	管更生工法採用延長(m)	計画値	1000	1000	1000	4000
	※最終値は4年間の累計	実績値	1884.4			
3	小口径マンホール設置箇所数(箇所)	計画値	50	50	50	200
	※最終値は4年間の累計	実績値	87			
効果額(千円)		加算	82,367	45,194	45,193	45,192
						217,946

◇行財政改革の評価

《年度末の進捗状況 計画通り》

【平成27年度】下水道受益者負担金収納率については、滞納者に対する督促、催告等を計画通りに行った。管更生工法、小口径マンホールについても可能な箇所は積極的な採用ができたため、当初の予定以上に前倒した進捗とコストの縮減が図られた。

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

・常に経済性を発揮するとともに環境の負荷を低減するために、下水道施設のポンプ場及び終末処理場を適正に管理運営する。
・平成28年度に県から移管された西遠浄化センターを含む、全ての下水道管理運営施設の質的向上、コストの縮減を目指し、持続的な官民連携体制を構築する。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	1,428,702	3,142,009
決算	1,355,369	
人件費(A)	202,400	209,600
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,557,769	3,351,609

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
維持管理対象施設の民間委託数(集約化)	件	3	目標	4	5
			実績	4	
委託業務レベルの向上	レベル	2.5	目標	2.0	2.5
			実績	2.0	
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

・常に経済性を発揮するとともに公共の福祉を増進するよう下水道施設のポンプ場及び終末処理場を適正に管理運営する。
・全ての下水道管理運営施設の質的向上、コストの縮減を目指し、持続的な官民連携体制を構築する。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

・ポンプ場維持管理業務、中部浄化センター維持管理業務、館山寺・湖東浄化センター等維持管理業務、細江浄化センター他施設運転管理業務の4委託業務(包括委託業務レベル2.0)について、業務完了報告書やセルフモニタリング等の検証により適正に委託業務が履行されていることを確認した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	3,351,609	3,142,009	27.0	5.0	1.0		
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						3,351,609	3,142,009	27.0	5.0	1.0		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

下水道施設のポンプ場及び終末処理場を適正に管理運営し、もって都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目的とする。

◇事業の概要

- 市内17箇所(中、南、北、西、御前谷、上島雨水、村櫛、都田、和地、瞳ヶ丘、観月園、蓬莱園、弁天島、西ヶ崎、金指、浜名、阿蔵)のポンプ場施設の維持管理事業
- 市内7箇所(西遠、中部、湖東、館山寺、細江、井伊谷、三ヶ日)の終末処理場の維持管理事業
- 事業場排水検査及び除害施設等の設置許認可事業

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	1,428,702	3,142,009
	決算	1,355,369	
	国・県支出		
	市債		
	その他	271,814	334,333
	一般財源	1,083,555	2,807,676
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		202,400	209,600
人工	正規	27.0	27.0
	再任用(h31)	3.0	5.0
	再任用(h26)	1.0	1.0
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
下水道施設維持管理・故障発生数に対する修繕率(%)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	80	82			90
実績値	88				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
下水道施設維持管理・年間運転可能期間(%)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	95以上	95以上			95以上
実績値	98				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
事業場排水検査・立入検査数(件)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	400以上	400以上			400以上
実績値	567				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ・市内15箇所(中、南、北、西、御前谷、上島雨水、村櫛、都田、和地、瞳ヶ丘、観月園、蓬莱園、弁天島、西ヶ崎、金指)のポンプ場施設の維持管理事業
- ・市内6箇所(中部、湖東、館山寺、細江、井伊谷、三ヶ日)の終末処理場の維持管理事業
- ・事業場排水検査及び除害施設等の設置許認可事業
- ・西遠流域下水道施設の県からの移管事業

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ・下水道施設維持管理の故障発生数に対する修繕率は88%となり平成27年度の目標値を満足した。
- ・下水道施設維持管理の年間運転可能期間は98%となり平成27年度の目標値を満足した。
- ・事業場排水検査等の立入検査数は567件となり平成27年度の目標件数を満足した。また、除害施設等の届出受理件数は185件であった。
- ・西遠浄化センターの県からの移管事業が完了し、平成28年4月より2年間の包括委託業務(レベル3)を開始した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・中部浄化センターにおける下水処理の夜間維持管理業務と汚泥処理業務を集約し、新たに水質分析業務を委託範囲に含めた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・県から移管された西遠浄化センターは、2年間の包括委託業務(レベル3)を実施中であるが、その実行性を監視するため、人工は概ね現状維持とした。また、包括委託業務終了後の平成30年度からは、コンセッション方式により業務を実施する。

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

(予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

- ・公共下水道マンホール等の維持管理。
- ・公共下水道取付管申請による取付管の設置。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	65,554	73,529
決算	64,398	
人件費(A)	49,000	49,000
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	113,398	122,529

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
取付管設置申請から完了まで3ヶ月間以内	%	100	目標	100	100
			実績	100	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

- ・公共下水道マンホール等の維持管理。
- ・公共下水道取付管申請による取付管の設置。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

- ・公共下水道マンホール等の維持管理において、マンホール周辺の不具合の調査や市民からの通報による修繕を迅速に実施した。
- ・公共下水道取付管申請による取付管の設置において、業務委託の発注時期を早めることで申請者からの対応をスムーズに行うことができた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	13,691	6,691	1.0				
2	浜松市下水道事業(資本的支出)				○	108,838	66,838	6.0				
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						122,529	73,529	7.0				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

事業目的 水環境を保つため、公共下水道施設の維持管理を行う。 事業の対象 公共下水道マンホール蓋等の施設。
--

◇事業の概要

管きょ維持管理事業 マンホール蓋等下水道施設の修繕業務

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	7,562	6,691
	決算	7,421	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	7,421	6,691
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		7,000	7,000
人工	正規	1.0	1.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
市民からの苦情(件数)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	30	27	25	22	20
実績値	15				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

管きよ維持管理事業 マンホール蓋等下水道施設の修繕業務

・事業の成果と課題

指標の達成度

・管きよ維持管理事業

公共下水道マンホール蓋等の不具合による市民からの苦情においては、巡回時にマンホール状況の不具合を確認し修繕等を行ったことで、年間苦情件数15件になり目標値を満足させた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・現場に出た際、管内のマンホール周辺の不具合に注意することを周知し、不具合を発見した際には報告することを徹底させた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・他部署からの情報共有を行う。

・事業の分類

大分類

細分類

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

事業目的 公共下水道取付管の設置 事業対象 公共下水道管きよ

◇事業の概要

施設整備事業(取付管設置・公共起債対象事業) 施設整備事業(取付管設置・特環起債対象事業)
--

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	-	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	57,992	66,838
	決算	56,977	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	56,977	66,838
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		42,000	42,000
人工	正規	6.0	6.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)		
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
取付管設置申請から完了が3ヶ月以内(%)				-	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	100	100	100	100	100
実績値	100				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 02 08 07750000

(担当課)
北部上下水道課

(責任者)
山下泰範

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

施設整備事業(取付管設置・公共起債対象事業)
施設整備事業(取付管設置・特環起債対象事業)

・事業の成果と課題

指標の達成度

・業務委託の発注時期を1ヶ月早めることで、4月に行う取付管工事の準備ができ、目標である申請から完了が100%を達成できた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

・入札時期を1ヶ月早め、4月に行う工事の準備期間を設けた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

・事業を継続する。

・事業の分類

大分類

細分類

政策シート (政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道
 (予算費目名) 浜松市下水道事業会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

下水道未普及地域における管きよ整備及び、既設下水道施設を適正に維持管理することにより、生活環境の改善及び、公共用水域の水質保全に努める。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	621,251	460,255
決算	584,415	
人件費(A)	42,880	49,880
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	627,295	510,135

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
下水道整備区域面積【旧天竜地域】	ha	385	目標	329	339
			実績	331	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

下水道未普及地域における管きよ整備及び、既設下水道施設を適正に維持管理することにより、生活環境の改善及び、公共用水域の水質保全に努める。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

下水道未普及地域の管きよ整備においては、区画整理事業の進捗に合わせ、船明地区の管路整備を主に進め、8haの面整備を完了させた。
 既設下水道施設の維持管理においては、4処理場の包括的民間委託による運転管理を実施し、施設の適正な維持管理に努めた。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	浜松市下水道事業(下水道事業費用)				○	157,209	132,689	3.0		0.6	0.7
2	浜松市下水道事業(資本的支出)				○	352,926	327,566	3.4		0.6	
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						510,135	460,255	6.4		1.2	0.7

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(下水道事業費用)

◇事業目的・事業対象

管きよ、マンホールポンプ等の施設の維持管理及び、4地区の浄化センターを適正に運転管理することにより、快適な生活環境の保全及び、公共用水域の保全につとめる。

◇事業の概要

- ①管きよ等の下水道施設を適正に維持管理する。
- ②4箇所に点在する浄化センターを適正に運転管理する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S42	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	131,949	132,689
	決算	126,354	
	国・県支出		
	市債		
	その他		
	一般財源	126,354	132,689
	一般会計繰入金		
人件費(報酬等) (千円)			
人件費 (千円)		22,420	24,520
人工	正規	2.7	3.0
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	0.6	0.6
	非常勤	0.7	0.7

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ①管きょ等の下水道施設を適正に維持管理する。
②4箇所に点在する浄化センターを適正に運転管理する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

マンホールポンプ、グラインダーポンプ(15箇所)及び管路施設(8箇所)の修繕を実施し、適正な維持管理に努めた。
4箇所の浄化センター運転管理及び施設修繕(21箇所)を実施し、適正な維持管理に努めた。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

浄化センターの運転管理については、包括的民間委託により実施している。
経年劣化に伴う施設の修繕が必要な箇所が多く見られる。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設の維持費(修繕)が年々増加傾向にあるため、耐震計画、長寿命化計画を取り入れ、効率的に施設を維持管理していく必要がある。

・事業の分類

大分類 細分類

事業シート (事業名) 浜松市下水道事業(資本的支出)

◇事業目的・事業対象

下水道未普及地域の整備促進及び、既設下水道施設の改築・更新をすることにより、生活環境の改善及び、公共用水域の水質保全に努める

◇事業の概要

- ①船明土地区画整理事業区域内の下水道、雨水函の整備
- ②緑恵台農業集落排水施設の公共下水道接続に向けた管路整備
- ③新規取付管設置要望箇所の整備
- ④老朽化した汚水ポンプ等の改良工事

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S34	—	事業会計	自治事務(その他)	下水道法	—	—	○

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	489,302	327,566
	決算	458,061	
	国・県支出	193,590	
	市債	238,024	293,177
	その他		
	一般財源	26,447	34,389
一般会計繰入金			
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		20,460	25,360
人工	正規	2.7	3.4
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	0.6	0.6
	非常勤		

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
下水道整備区域面積【旧天竜地域】(ha)				—	
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	329	339			385
実績値	331				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ①船明土地区画整理事業区域内の下水道、雨水函の整備
- ②緑恵台農業集落排水施設の公共下水道接続に向けた管路整備
- ③新規取付管設置要望箇所の整備
- ④水窪処理分区のマンホールポンプ設置工事
- ⑤老朽化した汚水ポンプ等の改良工事

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①船明土地区画整理事業の進捗に合わせ、整備面積8haの管路整備を完了させた。
- ②緑恵台農業集落排水施設の公共下水道接続に向けた管路整備L=654.3mを施工した。
- ③新規取付管設置要望箇所(28箇所)の整備を実施した。
- ④計画箇所のマンホールポンプ工事等、6箇所を実施した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 改善 小項目 正規職員 / 事業費 拡大 人工 縮小

船明土地区画整理事業の進捗に合わせ施工しているため、前年度より事業費が増加した。
グループ員の欠員により事業量が増加した。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 国・県補助金 / 正規職員 事業費 縮小 人工 拡大

合併特例の緩和措置が平成27年度で廃止され、交付金の適用が受けられないため、今後の財源確保が難しい。
施設の耐震計画及び長寿命化改革を取り入れ、効率的に施設を維持管理していく必要がある。

・事業の分類

大分類 ハード整備 細分類 工事・整備(土木)

政策シート

(政策名) 未来へつなぐ快適な都市の暮らしを強固に支え続ける浜松の下水道

(予算費目名) 農業集落排水事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後の目標

- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
- ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道

◇政策の概要

農村地域の汚水排水を衛生的に処理することで、農業生産基盤の良好な維持管理の推進と農村環境の保全に努める。
農業集落排水施設の公共下水道への接続は、緑恵台は、接続統合に向けて整備を進め、その他4地区については、平成28年度に策定する最適整備構想をふまえ、今後の公共下水道への接続について検討していきたい。

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28
予算	219,000	193,000
決算	197,642	
人件費(A)	14,120	14,120
報酬(B)		
年間経費(予算又は決算+A+B)	211,762	207,120

◇政策の指標

政策指標	単位	H36 目標値	年度	H27	H28
農業集落排水地区数	地区	4	目標	5	5
			実績	5	
			目標		
			実績		
			目標		
			実績		

◇平成27年度の政策評価(政策の概要)

農村地域の汚水排水を衛生的に処理することで、農業生産基盤の良好な維持管理の推進と農村環境の保全に努める。
農業集落排水施設の公共下水道への接続は、緑恵台は、接続統合に向けて整備を進め、その他4地区については、平成28年度に策定する最適整備構想をふまえ、今後の公共下水道への接続について検討していきたい。

◇平成27年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

緑恵台の公共下水道への接続統合に向けた管更生工事L=571.5mを実施した。
4地区の施設のストックマネジメントにおける、機能診断調査を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)		非常勤
1	農業集落排水事業					207,120	193,000	1.6		0.8	0.3	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						207,120	193,000	1.6		0.8	0.3	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 農業集落排水事業

◇事業目的・事業対象

農業集落排水処理施設から排出される生活排水、し尿を処理することで、農村の生活環境の向上と公共用水域の水質の改善を図り、施設を適正に維持管理する。

◇事業の概要

- ①農業集落排水処理施設5処理施設から排出される生活排水・し尿を適正に処理するための施設の維持管理。(処理場施設等の運転管理委託)
- ②緑恵台農業集落排水処理施設の公共下水道接続統合に向けた、管更生工事を施工する。(H27～H29)
- ③4地区の施設のストックマネジメントにおける、最適整備構想を作成する。
- ④農業集落排水事業に充当した公債費の執行。
- ⑤緊急時に対応するための予備費の執行。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H2	—	特別会計	自治事務(法令義務)	土地改良法、農業集落排水処理施設条例、農業集落排水事業分担金徴収条例	—	—	—

◇事業のコスト

		H27	H28
事業費(千円)	予算	219,000	193,000
	決算	197,642	
	国・県支出	8,000	6,000
	市債	39,600	33,000
	その他	38,296	37,528
	一般財源	127	105
一般会計繰入金		111,619	116,367
人件費(報酬等)(千円)			
人件費(千円)		14,120	14,120
人工	正規	1.6	1.6
	再任用(h31)		
	再任用(h26)	0.8	0.8
	非常勤	0.3	0.3

◇事業の指標(H30:重点戦略最終年度、H31:総合戦略最終年度、H36:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
農業集落排水地区数(地区)					
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値	5	5			4
実績値	5				

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

主な事業活動・事業成果 指標(単位)				総合戦略施策体系	重点戦略項目No
年度	H27	H28	H30	H31	H36
目標値					
実績値					

平成28年度

(管理番号)
03 06 02 11 07760000

(担当課)
天竜上下水道課

(責任者)
小木 要

(作成日)
平成 28 年 7 月 1 日

◇平成27年度の事業評価

・平成27年度の事業の概要

- ①農業集落排水処理施設5処理施設から排出される生活排水・し尿を適正に処理するための施設の維持管理。(処理場施設等の運転管理委託)
- ②緑恵台農業集落排水処理施設の公共下水道接続統合に向けた、管更生工事を施工する。(H27～H29)
- ③4地区の施設のストックマネジメントにおける、機能診断調査を実施する。
- ④農業集落排水事業に充当した公債費の執行。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ①点在する5処理場施設の運転管理及び、施設の修繕工事(18箇所)を実施し、適正な維持管理に努めた。
- ②緑恵台の公共下水道接続統合に向けた、管更生工事L=571.5mを実施した。
- ③4地区の施設のストックマネジメントにおける、機能診断調査を実施した。

・事業の改善と見直し

実施結果

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

処理場施設の修繕工事においては、施設の老朽化が進み、突発的な修繕工事が発生し、計画していた修繕工事を先送りとした。

今後の方向性

大項目 改善 小項目 国・県補助金 / 事業費 拡大 人工 現状

ストックマネジメント(機能診断調査)を実施し、公共下水道への接続統合を検討していく。
機能診断調査の結果により、交付金事業を対象とした施設の更新事業を検討していく。

・事業の分類

大分類 維持管理運営

細分類 施設管理運営(その他)